

会場の声



公開審査会こんなところがよかったです！

- ・公開審査という手法により審査の透明性が確保されて良かった。
- ・交流企画により他のグループの取り組み方や同様の悩みが話し合えて良かった。
- ・活発な意見が出てよかったと思います。
- ・福祉のまちづくりの実際の活動を知ることができた。
- ・このたびミニマップ作りに関わり、とても多くの収穫に感謝している。地域の中に「草の根的ボランティア」があることを知った。

公開審査会もっとうなるといいなあ

- ・もう少し、全体の時間が短いといいと思う。
- ・資料に、詳しい中間報告が欲しかった。
- ・地域福祉課等の関係のある活動と横断的に意思疎通を図る仕組みが必要だと思う。
- ・範囲拡大を要望する

今後に期待します

- ・今後、活動の広がり期待する。
- ・「永續きすることが」結果を出すポイントだと思う。
- ・地域的な活動が進むことで、将来練馬区全域で、どの人にもやさしい街、豊かな街になることを望む。
- ・多くの活動をしている方々があらわれる力を、より区としてバックアップして欲しいと願う。
- ・このような試みはまだ立ち上げ段階だと思うので、奨励する意味で本日のように寛大な審査をお願いしたい。
- ・もうそろそろ「たてわり行政」とか「地域に丸なげ」という言葉が出ないようにしていただきたい。

がんばります！

- ・中間報告を終えて、来年に向かって行動することが第一と考えて地域の方々とはがんばって参ります。
- ・福祉ボランティアとして、まだまだ第1歩です。これからいろいろなことに挑戦していきたい。
- ・まず自分の足元より福祉ということを念頭に置き、使いやすい、いきいきした地域ということを考え参加した。
- ・ネットワークを築くことのむずかしさは予想できるが、まず出来ることから仲間と共に行っていきたい。

地域の拠点 事例の視察に行きました

10月6日に助成グループを対象とした「コミュニティスペース見学会」を開催しました。空き店舗を活用して、高齢者の食と職を考えるレストランを運営している立川市の「レストランサラ」と設計事務所の一部をカフェとして開放している多摩市の「カフェ・ドゥ・ドウ」に行き、運営している方にお話を伺いました。



マップづくり研修を行いました!!

11月11日にテーマ部門（ねりまっぶミニ）助成グループを対象とした研修会を行いました。当日は、公共施設やサンツ中村橋商店街の商店の建物調査と中村橋駅周辺地区のまちの調査を行い、その後わかりやすい地図の表現方法について学びました。



事務局からのお知らせ

最終報告会 の日程が決まりました！

日時：平成19年3月24日（土）午後1時30分～（予定）

場所：勤労福祉会館（西武池袋線大泉学園駅南口徒歩3分）

「まちづくりは人づくり」

ちょっと堅い話になりますが、練馬区のような地方公共団体（つまり、都道府県や区市町村）は、「地方自治法」という法律に基づき、仕事を進めています。

この中で、「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本とする」という一節があるのですが、ここでいう「福祉」とは、「高齢福祉」や「障害福祉」という特定扶助の分野を指すのではなく、広く住民の暮らし一般を意味しています。

「福祉のまちづくり」についても、そこに住む人が自らの力で、あらゆる方々に使いやすく、快適に過ごせる空間を創出することが重要です。そこに温もりを加えるのは、やはり人と人とのつながりです。「まちづくりは、人づくり」。福祉のまちづくりは、これからも皆さんが主役です！



障害者課長
齋藤 浩一

情報提供のお願い

車いすやベビーカーで使いやすいお店など、障害者や高齢者、子育て中の方に利用しやすいスポットの情報をお寄せください



担当：練馬区健康福祉事業本部
福祉部障害者課

TEL (3993)1111 (代)

FAX (5984)1214

ホームページ

http://www.city.nerima.tokyo.jp/shogaisha/fuku_machi/index.html